ライト層代表の私が仲間とともに楽しく続けたい

自治労連女性部長・吹田市職労執行委員

山口　知夏さん

好きなことは阪神タイガースの応援と保護猫活動という山口知夏さん。お母様と同じ給食調理員の仕事に誇りを持ち、吹田市内の保育所で働いています。新しく自治労連女性部長に就任した山口さんに、組合への想いや大切にしている考え方をお聞きしました。



山口さんと保護猫の「きぃちゃん」

組合は「入るもの」、そして「敷居が高くない場所」へ

給食調理員の仕事に誇りを持って

20代後半、「女性一人で定年まで働き続けられる仕事を」と公務員を目指しました。背中を押してくれたのは、給食調理員として誇りを持って働くお母様の存在です。自分も母のようにと給食調理員になり、現在は吹田市内の保育所で働いています。

労働組合との出会いと役員生活

母親も組合員だったため、組合に入るのは「当たり前のこと」。女性部の役員を引き受けたのは入庁6年目の時。「夜の会議なら職場に迷惑をかけないだろうと軽い気持ちでした」と笑います。最初の1年は、「単組」の意味さえ分からず、気軽に引き受けすぎて少し後悔したこともありましたが、各地の仲間と大会や集会に参加したり、ニューヨークでの核不拡散条約（NPT）再検討会議や平和パレードに参加する中で、これまでにない広い視野や平和の大切さを学びました。組合への理解が深まり、何より全国にたくさんの人とつながりができたことが大きな財産になりました。

自治労連女性部定期大会にて
最前列右から５人目が山口さん



ジェンダー平等について考え続ける

国際女性デーの企画で、島岡まなさんの講演を聞いたことがジェンダーに関心を持つきっかけになりました。海外から帰国した子どもが「日本の洗剤のCMはなぜ女性ばかりが出るの？」と質問したというエピソードを聞き、「自分はおかしいとも思わず、それが当然の日本を生きていたんだとハッとしました」、「一度や二度学んだだけでは染みついた家父長制から抜け出せません。アップデートし続けなければいけません」と語ります。保育職場は女性が多くジェンダーの話題が出にくいからこそ、まずは自分の無意識のバイアスをなくすことから修行中です。

敷居の高くない組織を目指して

「熱い決意などはなく『やる人がいないから』と引き受けてきただけ」と謙遜する山口さん。「一人ひとりの声が大切」という想いと組合が労働条件の後退を防ぐ「防波堤」としての役割を果たしてきた現実を目の当たりにしてきたからこそ、女性部長を引き受けました。「組合の役員は敷居が高いものだと思われがちですが、決してそんなことはありません。『組合のライト層代表』として、義務感だけに縛られず、分からないことはその場で素直に聞き、できる人ができることをする。『出席するだけ』と、新しい人たちに気軽に入ってきてほしい。そんな敷居の高くない自治労連女性部にしていきたいです」と笑顔で語ってくれました。



2026 秋季闘争

職場でつながり 声をあげて

“みんなの願い”実現しよう

来年の夏、大阪で保育合研が開催されます。子どもたち、保護者、働く仲間のために、人員体制の確保、賃金・労働条件の改善を！



医療職場の大幅増員・賃上げで、公的医療・地域医療を守ろう！　仲間を増やそう！

3度目の住民投票より、相次ぐ災害・物価高から府民のくらしを守って

府民要求アンケート

大阪府への「願い」、聞かせてください

大阪自治労連は、府民のくらしや営業を守り、安心・安全の府政実現をめざして取り組んでいます。自治体・公共関係職場で働くみなさんの声や要求を府政に反映させるため、アンケートへのご協力をよろしくお願いします（アンケートの所要時間は約４分です）。



9月15日の大阪市会開会日行動では、大阪市に対しても「大阪市廃止住民投票もうやめて！住民投票、カジノより、生活・中小企業　困窮対策を」と声をあげました

おおさか自治体の仲間
発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2026年10月15日　No.427
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館４階　☎06-6354-7201　FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp
発行人／坂田　俊之　　編集人／有田　洋明
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。